

平成27年 9月 7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成27年 8月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成27年 8月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 26 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	513	435	416	345	320	303	346	313	507	581	512	523
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	141,934	116,780	99,614	80,006	66,673	53,476	52,025	61,788	121,116	146,935	172,500	180,985
顧客口座数 (単位：口座)	232,518	234,192	235,807	237,340	238,815	240,435	242,160	243,854	245,880	247,587	249,193	251,189
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	44,144	44,250	44,348	44,177	44,098	44,561	45,128	45,214	45,649	46,290	46,008	47,359

年 月	平成 27 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552				
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674				
顧客口座数 (単位：口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521				
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253				

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年 5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成21年 7月から平成26年10月まで株式会社大阪取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引 (愛称「大証FX」) のマーケットメイカーとしての業務を行っており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
5. 平成23年 8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 8月次の概況 >

8月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝123円台後半で取引が始まり、月前半は米国経済指標の良好な結果を受けて7日には125円台をつけると、その後も中国人民銀行による中国元の切り下げがドル買い要因となるなど、中旬にかけて123円台後半から125円台前半の狭いレンジでの推移となりました。ところが、下旬に入ると、中国経済の減速懸念が日米欧の株式市場と為替相場に大きく影響を与えはじめ、24日には世界的な株式下落に連動して急激なドル安円高となり、一時116円台前半の安値をつけました。その後は、株式市場が落ち着きを取り戻すにつれて値を戻し、121円台前半で月末を迎えました。米ドル／円の月を通じての変動率は、下旬の急激な相場変動が大きく影響し、平成27年1月以来の高水準となりました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、ユーロが円と同様に米ドルに対して堅調な推移となったほかは、米ドル／円と同様に変動率が上昇し、米ドル／円を含めた全体としての変動率も平成27年1月以来の高い水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、営業日数が前月と比べ2営業日少ない21営業日であったものの、前月比7%増加の896億通貨単位となりました。一方、営業収益は、各通貨の取引高当たり収益性が向上した結果、前月比8%増加の552百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,836口座増加の265,521口座と堅調に推移した一方、外国為替取引預り証拠金は、下旬の急激な円高が顧客損益に悪影響を与えたこともあり前月比1,983百万円減少の48,253百万円となりました。なお、8月24日の為替相場の急激な変動の結果、一部顧客に預り証拠金を超える損失が生じており、これを未収入金として計上しておりますが、8月末現在の残高は10百万円であり、これによる当社グループの業績に与える影響は軽微であると認識しております。

以 上